

学校名	県立上山高等養護学校
交流団体	①②高野ひまわり会 有志の方々 ②③上山市金生地区の方々
活動テーマ	「地域と接点を！」 ①花笠踊りの練習 ②花笠踊りの発表 ③生徒たちが考えたゲーム交流 ④交流の様子をまとめたポスターを制作し地域に掲示

花笠踊りの発表をきっかけに交流の機会が広がり、学校の近隣地域の方々とのつながりを深めることができました。



異なる年代の方々と一緒に楽しく活動できる方法を考える貴重な経験となりました。

〈活動内容〉

高等部2年生が「総合的な探究の時間」に取り組みました。

- ①高野ひまわり会の有志の皆さんと交流しながら、花笠踊りを踊りました。笠の動かし方や体の使い方など細かい動作まで丁寧に教えていただきました。
- ②教えていただいた花笠踊りを、後日「金生地区の方々との交流会」で披露しました。高野ひまわり会の有志の皆さんにも来ていただき、練習の成果を発表しました。
- ③交流会をきっかけに、金生地区の方々との交流について地域ボランティアなどの協力を含め要望をお伺いしたところ、生徒とのかかわりを深める交流会の開催についてご提案をいただきました。それを受けて、生徒たちで2度目の交流会を企画しました。
- ④地域交流の様子をまとめたポスターを生徒たちが制作し、金生公民館や多機能事業所ふぁーすとしてっぷなどの上山市内施設、山形市社会福祉協議会、県教育センターなどに掲示しました。

次のページに「活動成果・今後について」を掲載しています。



〈活動成果・今後について〉

- 花笠踊りという身近な文化活動を通じた交流により、地域の方と生徒が自然と打ち解け交流することができました。自分たちが通っている学校の地域には、たくさんの人たちが住み、様々な活動をしていることを知る事ができました。山形の伝統である花笠踊りに興味をもち、自分たちで調べたことで様々な流派があることを知り、郷土と伝統の文化を大切にする気持ちを育むきっかけとなりました。
- 花笠を教えていただいた生徒たちが、他の仲間に呼び掛けをして積極的に花笠を教える姿も見られました。
- ゲーム交流では、地域の方と一緒に活動できる内容を生徒たち自身で考え、風船バレーや伝言ゲームを計画しました。2度目の交流会ということや、地域の方も一緒に参加できるゲームを考えたことで、すぐに打ち解けることができ、生徒が自分から話しかける姿がよく見られました。
- 自分たちとは違う年代の人たちと一緒に活動を楽しむにはどうすればよいのか、安全面や環境整備など課題が見られたため、その課題を生かして次年度の学年へ伝えていきたいと考えています。
- 今後も、様々な交流活動を通しながら、地域のことに関心をもち、自分たちのことを知ってもらい、地域と関わりながら生活していくことの大切さを学ぶことができるようにしていきたいです。

